



# 愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第 132 号 編集：(一社) 愛知県腎臓病協議会事務局 発行：平成 28 年 8 月 10 日

**平成 28 年度 愛知県、名古屋市への陳情署名活動始まる**  
透析患者の「命と暮らしを守る」ために陳情署名・募金に御協力をお願いします。

## ■陳情項目

1. 透析患者の医療費給付の現状維持をお願いします。
2. ●施設への通院に協力をお願いします。(愛知県)  
●重度障害タクシー助成制度の改正をお願いします。(名古屋市)
3. ●広域で大災害が発生しても人工透析治療ができるように愛知県の各自治体が連携して災害対策への取り組みに努めてください。(愛知県)  
●広域で大災害が発生しても人工透析治療ができるように災害対策への取組に努めてください。(名古屋市)
4. 透析患者が特別養護老人施設に入所できるように努めてください。

## 愛知県議会議員団・名古屋市会議員団との懇談会実施

上記の陳情項目と同じ内容で、愛知県議会議員団及び名古屋市会議員団との懇談会を実施した。(政党別)

## ■懇談会内容抜粋

### (1) 透析患者の医療費給付の現状維持について

①年齢制限はしない。②自立支援医療受給証を持っていない人がいる。  
→導入時に本人が申請するように行政から広報する。行政と医師会との連携が必要。各透析施設で手続きの代行サービスはできないのか？

### (2) 通院協力について

名古屋市で配布している福祉タクシーチケットを秋田市で行われているデマンドタクシー方式「あい乗り」を提案→合理的な提案なので進めていきたい。

### (3) 災害について

災害時の透析施設への給水について→名古屋市は各病院への水道管の耐震工事を実施している。

### (4) 特別養護老人施設入所について

守山区志段味の「なごやサイエンスパーク」で名古屋市は約 100 床程度の医療対応型特別養護老人施設の建設準備をしている。

## 東尾張本部 医療講演会開催

平成28年7月31日(日)グリーンパレス春日井1F会議室で東尾張本部主催の医療講演会が行われた。参加者は約90名。内容は「我々が恐れる!しかも他人事では無い死亡率一番の合併症!心筋梗塞!原因は冠動脈石灰化によるもの」。

講師は、成瀬友彦先生(春日井市民病院副院長)でした。



講演をする成瀬先生

### ■主な内容(抜粋)

- ① 2006年はリン、カルシウムの管理が言われていたが、2012年から透析医会としてリンの管理がより重要視されるようになった。
- ②メルケベルク型動脈硬化(透析患者特有)…血管の柔軟性なくなる
- ③今後FGF23(線維芽細胞増殖因子)の数値が注目される。骨からFGF23は排出される。5年後には数値が測定されるようになる。腎疾患患者における高リン血症の症状の緩和を促す。参加者の皆さんお疲れ様でした。

## その他の活動報告

- 7月3日(日): 静岡県腎友会定期大会出席
- 7月21日(木): 北名古屋市の長瀬保市長に陳情を行う。  
実施者: 光会(光寿会リハビリテーション病院患者会)
- 7月24日(日): 第1回災害対策委員会 10時~12時、  
第1回組織委員会 13時30分~15時30分  
(愛知県白壁庁舎5F 県会議室)

## 事務局からのお知らせ

全腎協・愛腎協の青年部、女性部は、いつでも会員募集しています。詳しくは各施設の愛腎協代議員及び愛腎協事務局までお尋ねください。

## 今後の予定

- 8月28日(日): 第23回腎不全キャンペーン  
10時~14時30分(吹上ホール)